

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

競技は2018年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。なお、2018年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。

2. 練 習

- ① 練習は、第2陸上競技場とし、安全面に十分注意して行うこと。第2競技場の使用は選手のみ。
- ② 会場への投擲物持ち込みは禁止とし、練習は招集後に本競技場に入場してから行う。
- ③ フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 競技場とスパイクの使用

本競技場は全天候型である。使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳 12mm 以下、その他は 9mm 以下とし、その数は 11 本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の定規に適合するものでなければならない。

4. 招 集

- ① 招集所は、本競技場第3ゲート(200mスタートライン付近の出入り口)を出た競技場の左位置に設置する。
- ② 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。
- ③ 招集開始及び完了時間は下記の通りとする。

種 目	時 刻
ト ラ ッ ク 競 技	競技開始 30 分前開始 競技開始 15 分前完了
フ ィ ー ル ド 競 技	走幅跳、走高跳は 競技開始 45 分前開始 30 分前完了 棒高跳、砲丸投は 競技開始 60 分前開始 45 分前完了

- ④ 招集は1回で、上記の時刻までに競技者本人(代理人は認めない)が招集所に行き、競技者係から点呼を受ける。点呼を受けた後は競技者係の指示に従う。
- ⑤ トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。(リレー競技は第4走者のみ)
- ⑥ 混成競技について
(イ) 1種目め、3種目めの招集は招集所で点呼を受ける。
(ロ) 2種目め、4種目めの招集は、招集所脇の混成競技者招集所で混成競技係の点呼を受けること。なお、フィールド種目は、競技開始時刻の30分前まで、トラック競技は、競技開始時刻の15分前までに集合すること。

5. 入 退 場

- ① 入場については競技者係の指示・誘導に従う。
- ② トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却し、第1通用門から退場する。
- ③ フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で最寄りの通用門から退場する。

6. ナンバーカード

- ① ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ② ナンバーカードは胸(腹ではない)と背にしわにならないように四隅をしっかりとしつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走 路 順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、準決勝、決勝の組・走路順は本部で抽選し招集所・記録掲示場所に掲示する。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

9. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグループスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。〔第162条⑩〕また、気象条件によっては給水を行う。

10. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱(もしくは代用縁石)を置くこと。〔第163条⑤〕

11. リレー競技について(リレーオーダー用紙はTICに準備)

- ① リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、最初の組の招集完了時刻招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。各ラウンド毎に提出すること。
- ② リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ③ リレーのマーカーの使用は1カ所とする。〔第170条⑪を適用〕

12. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
共通男子走高跳予選	1m50・70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	
決勝	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85	以降 3 cm ずつ
共通女子走高跳予選	1m35・45	1m40	1m45	1m48	1m51			
決勝	1m45	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	以降 3 cm ずつ
共通男子棒高跳	2m80・3m50・4m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	以降 10cm ずつ
共通女子棒高跳	2m20・2m50・3m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	
男子四種走高跳	1m35・50	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	以降 3 cm ずつ
女子四種走高跳	1m20・30	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	

- ② 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、第1位決定のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では 2cm、棒高跳では 5cm とする。〔第 181 条⑧〕
- ③ 男女の走高跳の予選通過記録は、男子 1m76、女子 1m51 とする。

13. 番組編成

1 0 0 m から 8 0 0 m まで、また 4 × 1 0 0 m R で準決勝、及び決勝の番組編成は、上位 1 ～ 4 位の 4 名、または 4 チームを中央の 3 ～ 6 レーンに、5、6 位が 7、8 レーン、下位 2 名または 2 チームを 1、2 レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

14. 計時・競技の抽選

- ① 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- ② トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
- ア、4 0 0 m 以下の競走競技、障害走、リレーにおいては、1 0 0 0 分の 1 秒以上の比較をし着差の判定をする。それでも判定できない場合は、競技者又は代理人によって抽選をして決定する。
- イ、8 0 0 m においては、アと同様に比較し、それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。（レーン内に 2 名の競技者が走る）
- ウ、1 5 0 0 m、3 0 0 0 m の同タイム者は、次のラウンドに進める。

15. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは 1 回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、全て失格とする。2 0 1 8 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第 1 6 2 条 5 の適用はしない。

16. フィールド競技について

フィールド競技は記録上位 8 名がトップ 8 へ進出となり、さらに 3 回の試技を認める。（走高跳、棒高跳は除く）

17. 用 器 具

- ① 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ② 棒高跳のポールは本部の公式計測員の検査を受けてから使用する。

18. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて 1 5 分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は 3 0 分以内）に各顧問が T I C を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金 1 0, 0 0 0 円を添えて、担当総務員ジュリーに文書で申し出る。

19. 表彰

各競技決勝終了後、本部前で直ちに行うので、8 位までに入賞した選手は競技終了後表彰係の指示に従う。

20. そ の 他

- ① 本大会で全国大会への出場権を得た競技者と顧問監督は必要書類を総務員席で受理し説明を聞くこと。
- ② 各自の持ち物については自分自身で管理し盗難に注意する。
- ③ ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- ④ 応援は必ずスタンドで座って行い、のぼり・横断幕の設置は総務の指示に従う。メインスタンドの集団応援は禁止する。また、トラック競技スタート時の芝スタンドでの集団応援は禁止する。
- ⑤ メインスタンドにおいては、敷物などを設置して座席を独占してはならない。
- ⑥ プログラムの記載事項の訂正については 1 日目、2 日目とも 8 : 1 5 までに、各校監督が総務員席へ届け出ること。
- ⑦ 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。
- ⑧ レースを棄権する競技者は棄権届を T I C で受け取り、必要事項を記入の上競技 1 時間前までに T I C へ提出すること。